

パパは
43歳お誕生日

悠仁さま



歯みがきお着替えがんばり中

徹底ワイド
芸能人プロデュース商品
朝4時から行列
生キャラメル
本当はどーなの?

年金テロ「殺人で年金問題は解決しない」

100組から
クリスマスプレゼント
映画「ティンカー・ベル」
200名様 試写会へ

12月9日号 価格340円

気になる

東山紀之
マンション住民抗議
薄ら笑いで半裸を見せつけ

DAISO
ネイル王子&写真集独占先行公開
クム伊達オグシオ尾崎
女性アスリート涙の感動秘話



二岡妻・モナに痛烈「私は家族が...」
ほしのあき・深キョン・ブロードル会結成
福原愛・積極的「姉さん女房」熱愛

定額給付金
ソホクな疑問Q&A
有名人私生活の内幕
どう使う? マンダラート

家計防衛最終手段
主婦でお金を稼ぐ
年末ジャンボ
10大エリア30売り
札幌駅 池袋駅 福岡駅

年末保存版
平野寿将 築地
美食めぐり

好評連載
Celeb Storage ペッカム 鬼嫁のいぬ間に...
40代のお足もカワイイ 美脚パンツ
美人インフルエンザ「洗う」で防げる!
海外セレブ妻は夫よりスゴイ!

48歳でウエスト50cmキープ!
母と義父が娘に
売春強要のワケ
がんばれ小さな戦士
多岐見山花子 白粉屋大空司
ズボラアゲも楽しむ
まびれ革命

3歳児からの負担の少ない治療

マウスピースで 幼児の歯列矯正



歯科矯正歯科クリニック院長

高橋宗光

1974年日本大学歯学部卒業。同年～1993年岡山大学歯学部小児歯科勤務。1993年歯学部博士。1993年歯科矯正歯科クリニック開設。1999年日本矯正歯科学会理事。1999年日本小児歯科学会理事。1999年岡山大学歯学部小児歯科専攻の指導教官。2002年文部科学省「日本大学歯学部」、2004年オーストラリア大学歯学部客員教授。2006年日本歯科医師会全国小児歯科委員会理事。

反対咬合にムーシールド

ムーシールドは、幼児の受け口（反対咬合）を治療するマウスピース型の矯正装置です。1980年代に考案して以来、数多くの受け口治療に貢献してきました。2000年代、日本歯科医師会から、歯科医師対象の教育ビデオが公開されました。また、世界各国で幼児期の受け口治療に使われています。

乳歯列期の反対咬合は、永久歯に生え替わるとき、自然に治療する可能性があります。

しかし、下顎を顎関節症の原因となる場合、自然治癒を期待することは、まずできないとされています。また、家庭に受け口の人がある遺伝的要因のある場合、自然治癒への期待値はさらに低くなります。

これまで多くの場合、乳歯列期反対咬合に対して、「永久歯が生えるまで様子を見る」という対応が一般的でした。しかし、「幼児が自然に使える矯正装置が存在すれば、乳歯列期反対咬合の治療が可能なのではないか」という視点から、子供たちが簡単に使える装置を開発する必要性を感

覚えました。それはまた、子供たちに快適な装置でなくてはなりません。1993年以降、開発から10数年に渡り、多くの幼児がムーシールドを使用していることから、子供たちにも快適な装置であると考えるでしょう。

筋力のバランスを整える

正常なかみ合わせの場合、舌は歯上され上顎に届きます。しかし、受け口の場合、舌は歯がらず、低い位置で機能し、下顎を前方に押し出す様に作用してしまいます。特に「低位舌」と呼ばれています。そこで、ムーシールドを使うと、舌を飲み込むたび、舌が平上するように訓練することになります。その機能訓練が、第一の作用です。同時に、ムーシールドは、下あごの前後中

マウスピースで幼児の歯列矯正

ムーンシルドは、就寝時、舌を装置の中に入れることを指導します。正しく装着されつばを飲むと、オトガイに「ウメボン」ができます。装置は就寝中使用しますが、装置初期には習慣に練習することを勧められています。テレビなどに集中している時が、最適な練習時間だと思えます。また、就寝中、口を開いていること

就寝中の正しい装着を

ムーンシルドは、就寝時、舌を装置の中に入れることを指導します。正しく装着されつばを飲むと、オトガイに「ウメボン」ができます。装置は就寝中使用しますが、装置初期には習慣に練習することを勧められています。テレビなどに集中している時が、最適な練習時間だと思えます。また、就寝中、口を開いていること

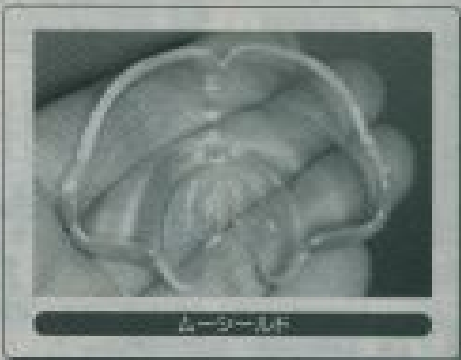
発生にあるオトガイの筋肉に緊張を与えます。その「緊張」は、「ウメボン」(オトガイの後ろの骨)「ウメボン」(オトガイの「ウメボン」は、下顎骨の成長を抑制する方になると考えられています。「ウメボン」を作ることで、ムーンシルドの第2の作用です。

がよくあります。つばを飲み込む時には、必ず口唇を閉じるので、治療効果に問題ありません。

より早い時期に治療開始を

反対咬合の治療は、正しい成長を阻害する因子を除去することから始まります。適切な組み合わせという事実は、正確な状態ではありませんが、そのままにしていくと、上顎の発育はいつまでも阻害されます。また、下顎は過成長しやすい状態が続きます。そのような状態は、可能な限り早い時期に、正しい状態に戻してあげる必要があります。幼児期であれば、約1年以内には、改善の見込みがあると考えられます。

早期に治療しても遺伝的な問題を抱えていると、中学に入る頃、再び治療を必要とすることもあり得ます。その確率は低いものですが、理論的には否定できません。しかし、早期治療によって受ける意志は大きいものです。従って、治療行為に対する負担が大きくなる前、幼児期に「早期治療」つまり「まず、十歳まで治療」を受けることをお勧めします。



ムーンシルド

歯科医師による診査診断

ムーンシルドは、歯科医師の診査診断に従って使用する医療器具です。また、患者自身、保護者そして歯科医師の三者の協力によって、初めて治療の成果が上がることも、明記しておきたいと思えます。

これからは、乳歯列期であることが、治療開始時期を遅らせたり遅延したりする理由にはならなくなりました。乳歯列期の受け口は、「まず、歯のかみ合わせを改善して、様子を見ていこう」という時代になることを願っています。さらに、ムーンシルドによる治療法が、受け口の子供達、また関係するすべての人々にとって、標準であることを願っています。

ムーンシルドは自費治療です。治療費は年間約10〜15万円程度です。詳細は各歯科医師にご相談ください。

にい歯科矯正歯科

矯正歯科・小児歯科・歯科
院長 新居 泰浩 認定歯士 大塚 啓輔

マウスピースを使った幼児の歯列矯正から、お子様の成長に合わせた本格的矯正(歯列)治療まで、一貫した診療を行っております。もちろん子供の歯一般にもご相談下さい。

〒264-0821 兵庫県神戸市東灘区西木2-4-13-1F (阪神電鉄西木駅 南へ徒歩2分)
TEL:078-433-0500 www.nido-online.info/ 携帯サイト www.nido-online.info/j